

## 取扱説明書

## 保管用



# 屋外用埋込ボックス

(防雨型)

ご使用になられる前に必ずお読みください

## 安全に関するご注意

この取扱説明書には取り付け方や交換方法、お手入れのしかたなどご使用にあたり重要な事柄が書かれてあります。

この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

お客様へ：取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

器具（簡易取り付け型、ダクトレール用、プラグ付きを除く）及び配線器具の取り付け工事は

必ず電気工事店（有資格者）にご依頼ください。一般の方の工事は法律で禁じられています。

工事店様へ：工事が終わりましたら、この取扱説明書を必ずお客様にお渡ししてください。

## 仕様

| 品 名    |
|--------|
| TG-448 |

※この埋込ボックスには適合器具を別途ご用意ください。

## この取扱説明書のマークについて

- ⚠ **警告** 説明書中の「警告」は、重大な人身事故の原因となる危険を示します。
- ⚠ **注意** 説明書中の「注意」は、物損及び傷害事故の原因となる危険を示します。

## 取り付け・取り扱い上の注意

## ⚠ 警 告

必ず排水処理管工事をおこなってください。

★水がたまり、火災や感電のおそれがあります。

一般用屋外器具です。浴室など湿気の多い場所や腐食性ガスの発生する場所、塩害地域などでは使用しないでください。

★器具の転倒や落下、破損によるけがや漏電、感電のおそれがあります。

不安定な場所や振動や衝撃の多い場所では使用しないでください。

取扱説明書および本体表示以外の取り付け方向には取り付けしないでください。

★指定以外で使用すると火災や感電、器具落下によるけがのおそれがあります。

次のような場所には取り付けしないでください。

○壁面以外の場所（床面や土中埋設はできません）

○冠水する恐れのある場所、雪で器具が埋没する場所

○背面から漏水の可能性のある場所

★防水性が損なわれ、漏電、感電のおそれがあります。

器具配線やコネクタなどを過度な力で引っ張らないでください。

★充電部露出による感電のおそれがあります。

ドライバーなどの異物は差し込まないでください。

★感電のおそれがあります。

器具の改造や構成部品の変更はしないでください。

★火災や感電のおそれがあります。

## ⚠ 注 意

器具の取り付けは、器具の取扱説明書にしたがって、取り付けてください。

★指定以外の器具は取り付けられませんのでご注意ください。

照明器具には寿命があります。設置後、通常のご使用で8～10年後には外観に異常がなくても内部劣化が進んでおります。

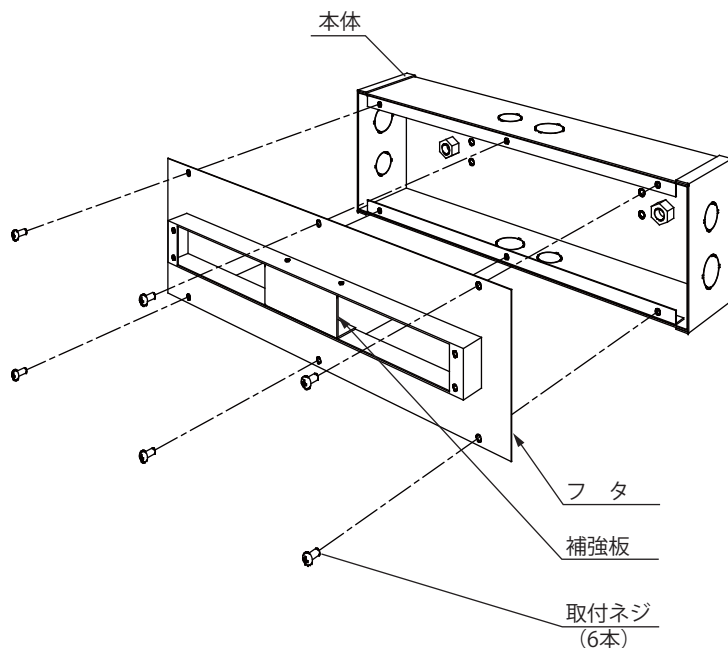
★点検・交換をお勧めします。※通常の使用条件とは周囲温度30℃、年間3000時間点灯です。（JIS C8105-1 解説による）

## 各部の名称

(説明図は、一部を省略抽象化した図です。)

(不足している部品があった場合には、お買い上げ店または最寄りの山田照明サービス受付窓口までご連絡ください。)

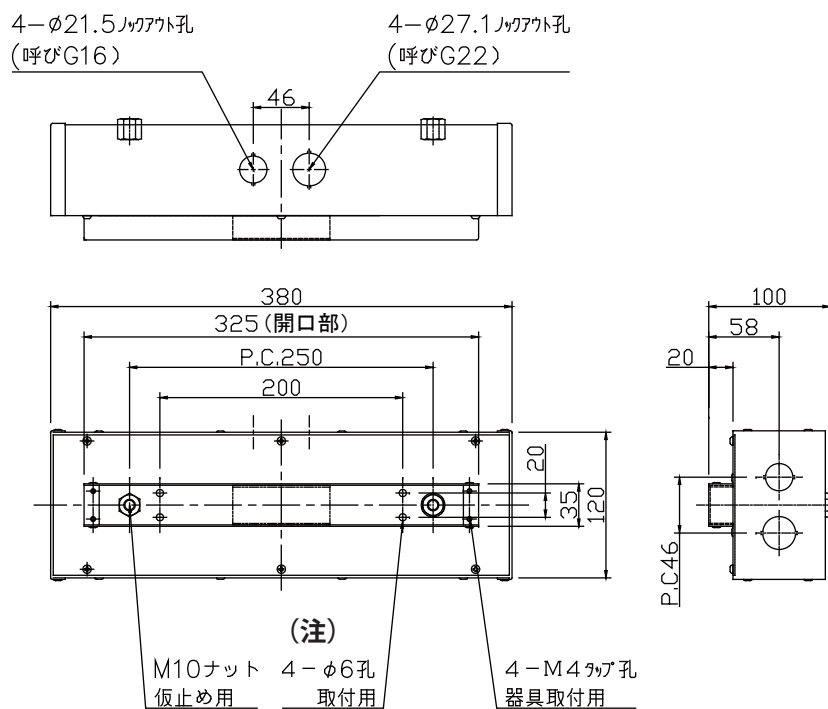
### ■器具構成図



### ■付属品

-  仮止めボルトセット . . . . 2本
-  型紙 . . . . 1枚
-  取扱説明書 (本書) . . . . 1枚
- 保証とアフターサービス (別紙) . . . . 1枚

### ■寸法図



(注) この取付孔は埋め戻し方法で取り付ける場合に使用するものです。  
コンクリート打放し等の流し込みで取り付ける場合には使用しません。

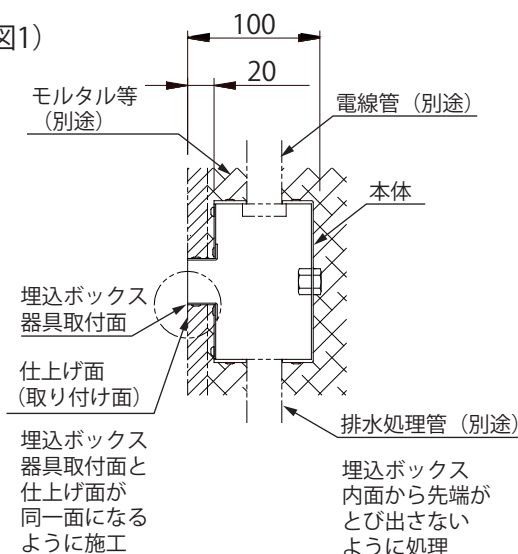
## 取り付け方

### ⚠ 警 告

器具の取り付けは、取扱説明書に従い確実に行ってください。

★取り付けに不備があると、器具落下によるけがや火災、感電事故の原因となることがあります。

(図1)



### 1. 器具を取り付ける前の確認 (図1)

埋込ボックスの設置および電線管・排水処理管の取り付けに必要なスペースを確保します。

### 2. 埋込ボックスの設置 (図1)

- 取付ネジ（6本）をゆるめ、フタを外します。
- 埋込ボックスの位置決めを行い、電線管（CD管など）（別途）および排水処理管（別途）取り付けます。
- 必ず排水処理工事を行ってください。  
下側のノックアウト孔は排水処理専用です。  
電線管を取り付けないでください。
- 配管作業が終了したら、外したフタを取り付けてください。  
**★不備がありますと、火災・漏電の原因となります。**

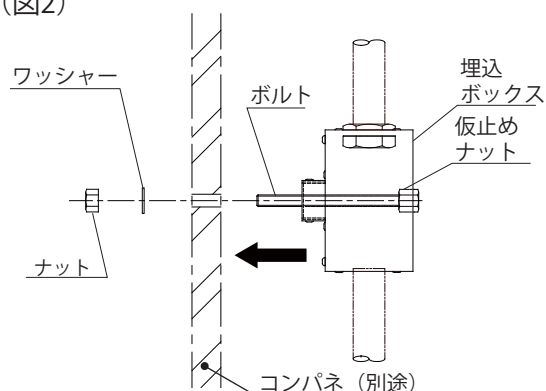
### 埋め戻しの場合

- 仮止めには、本体の4-φ6孔取付用 を使用してください。
- 埋込ボックスを水平になるよう設置し、埋込ボックスの周囲をモルタル等で動かないよう十分に固定してください。
- 防水性能を保つため、埋込ボックスの開口部（器具取付面）と仕上げ面が同一面になるよう施工してください。

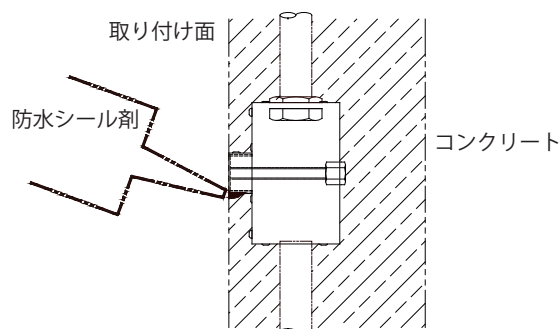
### コンクリート流し込みの場合

- コンパネに仮止め用の穴を開けます。  
器具を設置する位置のコンパネに、付属の型紙をあてがいφ10～φ11の穴を2箇所開けます。
- 埋込ボックスをコンパネに取り付けます。(図2)  
① 付属のボルトを埋込ボックス本体の仮止めナットにセットし、コンパネに開けた仮止め穴に通します。  
② 付属のワッシャーとナットでコンパネに固定します。
- コンクリートを流し込みます。
- コンクリートが固まったらナット・ワッシャー・ボルトをはずしてコンパネをはがします。

(図2)



(図3)



### 3. 取り付け面の確認 (図3)

- ① 埋込ボックスと取り付け面の間に隙間がある場合には、防水シール剤で防水処理を施し隙間をふさいでください。
  - ② 取り付け面からはみ出した余分なシール剤はヘラ等で落としてください。  
落とす際シール剤が本体に入らないようにしてください。
- ★本体に入った場合、ただちに拭き取ってください。**  
そのままにしておくと、シール剤が邪魔になり器具が取り付けられない原因となります。

### 4. 補強板を取り外します。

器具取り付け時には外してください。  
工具（ペンチ等）でつかみ、引き抜いてください。

## ■アフターサービスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態となりましたらただちに使用を中止し、器具の型番（器具本体のラベルでご確認ください）、故障の状況、ご使用期間をご確認の上、お買い上げ頂きました販売店、もしくは別紙の山田照明サービス受付窓口にご相談ください。